

## 木のぬくもりを感じる

### 親子木工教室

親子木工教室が8月4日、西行桜の森木工芸館遊鵬で開催されました。

教室には小学生と保護者14組37人が参加。参加者からは、木工芸館管理人（ひらいずみ里山倶楽部）から電動イトノコやノコギリ、釘の打ち方など、アドバイスを受けながら巣箱や貯金箱を作成。親子で木のぬくもりを感じながら、作品づくりに取り組んでいました。



親子で木工を楽しむ参加者

## 平泉文化研究の連携強化に

### 岩手大学と相互連携協定

町は岩手大学（藤井克己学長）と8月19日、相互連携協力協定を締結しました。この協定は、平泉文化研究を通しての連携強化を深め、柳之御所遺跡などの世界遺産拡張登録や、将来を担う人材育成などを目的としています。

岩手大学とは、これまでにも土壌分析や測量、平泉文化フォーラムや小学校への世界遺産教育などで連携を行ってきましたが、今回の協定によって平泉文化についての研究が、より一層進むものと期待されます。



協定書を取り交わす藤井学長と菅原町長



受賞を報告する小岩さん（写真左から2人目）

## 小岩さんが最優秀賞

### 商工会青年部主張発表県大会

平泉商工会青年部の小岩義典さんが7月10日に開催された平成25年度商工会青年部主張発表県大会で最優秀賞に輝きました。

県南地区代表として同大会に出場した小岩さんは、これからのまちづくりへの関わりなどについて思いを発表しました。

8月8日に菅原町長を訪れた小岩さんは「受賞は先輩方や協力いただいた皆さんのおかげ。県大会では思いを伝えることができたと思う。全国大会を目指し、町のPRや町内を盛り上げていけるよう頑張りたい」と受賞の喜びと、東北大会に向けた抱負を話していました。東北・北海道大会は10月27日に青森市で開催されます。



グループホームけーせんの利用者が作成した七夕飾りを前に記念撮影する

## 来庁者の目を楽しませる

### グループホームけーせんの七夕飾り

グループホームけーせんの利用者が作成した七夕飾り3本が、今年も役場玄関ホールに飾られ、来庁者の目を楽しませていました。

7月31日に役場を訪れた同ホーム利用者は、出来栄に満足した様子で七夕飾りを眺めていました。

## 行く夏を惜しむ 古都平泉の夜



▲大泉が池に浮かぶ灯笼

▶大文字送り火では、中尊寺「不滅の法燈」から分火した火種を、4人のランナーがトーチリレーでつなぎました



▲幽玄な中尊寺薪能（8月14日）



▲町内を優しくともした「夢灯り」

8月16日恒例の大文字送り火が開催され、駒形峰に「大」の文字が赤々と浮かび上がりました。見物客らは送り火に向かって手を合わせ、先祖や東日本大震災の犠牲者らを供養していました。

また毛越寺大泉が池には、先祖供養や震災復興などの願いが込められたの灯笼が浮かべられ、観自在王院跡や毛越寺ポケットパーク、中尊寺通りなどには夢灯りがともされ、町内は優しく幻想的な雰囲気にも包まれていました。

## 100歳の節目を家族で祝う

### 石川スエさんが100歳を迎える

石川スエさん（14区）が8月1日、満100歳の誕生日を迎えました。

滝山副町長が「100歳おめでとうございます。これからも元気で長生きしてください」と声をかけると「ありがとうございます」と笑顔で応えていました。

石川さんは大正2年生まれ。子ども6人を育て上げ、孫12人、ひ孫16人、やしやご3人に恵まれ、現在は長男夫婦らと7人で暮らしています。

健康の秘訣は「1日3食、しっかり食べる」と話していました。



家族や親類と記念撮影するスエさん（前列右から2人目）